

編輯室の内外

夏も不順の儘で、秋風起つて白雲飛ぶ、と言ふ季節に爲つた。普通の歳なら政府の豫算も大體眼鼻が附いて、新年度事業を夢見るときだが、例の赤字問題で豫算の編制方針すら決つて居ないのは随分悠長なものだ自分が考へて約束した政策を言明し實行すると、府縣議選に影響するから萬事選後ちや、とは自分の政策が世に容れられない證據だ、是で多數を制しやうとするのだから國民を馬鹿にしてゐる。赤字問題をドー始末するかを言明せねば選舉の結果は知るべき已と言ひたい。

失業救済道路の執行を選舉に利用したと言つて騒いでゐる地方がある。之を攻撃の種にしやうと、力めてゐる政黨、政友會もあ

編輯室の内外

る。併し失業救済道路を起したのは其のやうな不善することが目的ではない、失業者を救済することだ、假令一二の不正があつたにしても此事業の權威と効果を否むべきではない、餘り詰らぬことに執せず條理に従つて判斷して貰いたいものだ。

前號に特別附録として「道路技術員必携」を添えた、夫れに「禁轉載」と書いたことが學問の自由を拘束すると言ふので非難してゐる人もあるさうだ。併し本會は正式に内務省の許可を受けて登載したので、お役所の公文書が公開的のもので無い以上は、轉載を禁ずるのは認可を受けた者が徳義上爲すべき當然事であらう、假令私かに夫れを他の雜誌に登載した人があつたにしても不公開な行爲として吾等は決して夫等のものに組しない、矢張り本誌の編輯は公明にやつてゐる筈だ。

福岡縣で開いた學術講演會も豫想以上の成績を收めた。是には講師各位の熱心な講演に依つたことは勿論であるが、福岡縣知事始め坂本土木課長が格別の厚意を寄せられ、九州大學の教授其の他の關係者が多大の援助を與えられたことに依るので、是等各位に深甚の敬意を表する。

一本誌定價 五十錢
一ヶ年分 金 六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團 道路 改良會
東京府豊多摩郡代々幡町幡ヶ谷三五六
發行兼 編輯者 小 島 效
東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武